

協力校懇親会(2012年11月3日)講演会

茅ヶ崎方式を高校生に

“Don't study hard, study smart with Chigasaki”

講演要旨集

はじめに

茅ヶ崎方式英語会 大美賀廣芳

基調講演

「だから、時事英語、だから、茅ヶ崎方式」

中西哲彦

茅ヶ崎方式月刊英語教本編集委員

日本福祉大学準教授

事例報告

「高校生に茅ヶ崎方式を」

寝屋川校 北川 孝子

「高校生クラスの事例報告」

浜松校 松島 しげみ

「高校生に茅ヶ崎方式を適用して」

加古川校 野崎 一恵

資料

「寝屋川市国際交流協会 30周年記念スピーチコンテストに参加して」

茅ヶ崎中級クラス (高3女子)

高校生にも茅ヶ崎方式 アンケート結果

浜松校 松島しげみ

「茅ヶ崎方式を高校生に “Don't study hard, study smart with Chigasaki”」

はじめに

代表 大美賀廣芳

中学校卒業程度の英語力があれば、茅ヶ崎方式で学習を開始できるとお話しして参りました。中学卒業程度の英語力があるといえば、高校生です。さて、受験勉強で大変な高校生に茅ヶ崎方式を適応できるのでしょうか？

「英語で授業を」という文科省からの掛け声で、来年には高校にも英語の新しい学習指導要綱が適用されるそうです。この文科省の理想と受験という現実の狭間で英語難民化する高校生を救い出すために、茅ヶ崎方式・協力校に何ができるのでしょうか、本日は、この点を中西先生の講演を通してご一緒に考えていただけたらと思います。

今まで、茅ヶ崎方式英語会は「聴き取れなければ話せない」のキャッチコピーの下、Listening に重点を置き、News を素材にした学習教材の優位性を訴え、茅ヶ崎方式英語学習法の普及に努めて参りました。基本 4000 語、教本 BOOK-0 から BOOK-5、そして月刊英語教本まで、茅ヶ崎方式の教材は安く優れた教材です。

学習者はこれらの教本を手に取り、その素晴らしさに気付き、嬉々として学習をはじめますが、独りでどこまで続けられるのでしょうか？1 か月後には、自律学習の重要性を忘れ、2 か月後には英語習得への motivation は薄れ、3 か月後には、書店で、別の英語学習 Know-how 本を手に行っているのかもしれない。

どんなに良い教材でも、学習してもらえなければ、無用の長物です。そして、英語習得には一定期間継続して学習する必要があります。しかし、ほとんどの英語学習教材には、継続学習支援の仕組みはありません。NET で提供される教材にも、その仕組みはないので、自律的学習を継続することは非常に難しいです。

継続学習のためには、やはり、協力校のような学習会が必要です。本日、改めて、茅ヶ崎方式は学習会主義を提唱します。学習会には、学習者の motivation を control し、自律学習の方法を忘れないようにしてくれる講師や仲間がいて、継続学習を支援してくれます。

敢えて、ユビキタスという安易な独学の道を否定します。無料の NET 学習やら、聞き流すだけの独学法を否定したいと思います。

学校とは一味違う学習会主義で、まずは高校生の英語学習を助けたいと思います。(終り)

「だから、時事英語、だから、茅ヶ崎方式」

～協力校懇親会（2012年11月3日）講演より～

中西哲彦

茅ヶ崎方式月刊英語教本編集委員

日本福祉大学準教授

高校生の最大の関心事は？ 大学受験、である。つまり、センター試験である。どれぐらい点数をとれるだろうか？ である。より偏差値の高い難関大学に入学するには、センター試験の英語でほぼ満点に近い点数をとらねばならない。

このためには、どんな力を培えばよいか？

文科省の学習指導要領にこの答えが書かれている。センター試験の傾向と対策はそれぞれにあるが、そのネタはどこにあるのか？何の能力を測りたくて問題が作られているのか？

出題者の意図は、指導要領に書かれている。現行の指導要領*には、高校の英語科目（英語Ⅰ、英語Ⅱ、writing、reading、oral communication）について、--- 英語を聞いたり読んだりして、内容を把握し理解することができること、その内容について考え、話し合い、意見の交換をすることができること、情報や自分の意見を整理して書くことができること --- と書かれてある。こういう力があればセンター試験で高得点が得られる。つまり、問題を読んで、速く理解する能力が求められる。 [* 文部科学省学習指導要領高等学校英語（現行版・平成24年度入学制までが対象）URL http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/cs/1320334.htm]

理解するとは、何か？

情報には、論理、印象、感情的な描写、出来事、意見など、いろいろある。これを表現するときには人間には何等かの意図が働く、単に「桜の花が咲いた」ではなく、その表現はいろいろになる。その表現の中の、強調・順番・展開を受け止める。この逆を行くのが理解することである。

ある事実をもとに、その事実を表現する場合、その表現はいろいろある。

[例]

- ・ Nankichi was born in Handa City.
- ・ He went to Tokyo to study English.
- ・ He became an English teacher.
- ・ He wrote many stories for children.
- ・ Both adults and children enjoy reading his stories.

この事実から意図、強調をはたらかせて、以下のような表現がありうる。

A. Born in Handa City, Nankichi became a well known writer of stories for children. While

he studied English in Tokyo and became an English teacher at a high school in Anjo City, he wrote many stories for children which both adults and children enjoy reading even today.

B. Stories for children written by Nankichi are read by adults as well as children. He was born in Handa City, lived in Tokyo to study English and became an English teacher at a high school in Anjo City, while he was writing stories for children.

読むということは、意図を感じながらメッセージ（情報）を分解し確認すること。メッセージを確認できれば後に続く問題にも解答できる。

文章に盛り込まれている情報を分解し、頭の中で整理できているかどうかを知るのが出題者の意図である。長文を読んで、本文に戻らずに質問に答えられる力が必要、内容・要点を捉えられるかどうか。読めるということは、速く正確に内容を把握できるということ。

この訓練に最適なのが時事英語である。なぜなら、ラジオニュースは短い時間に多量の情報を伝えているからである。しかも音声だけで。ニュースの文章は凝縮されている。これで訓練することによって、正確に速く理解し、要点を人に伝え、感想が書けるようになる。

[例]

ニュース：

Faced with public criticism, the prime minister abandoned hope of having the controversial bill passed by parliament.

これには、以下の情報が入っている：

- ① The prime minister wanted the parliament to pass the bill.
- ② It was a controversial bill = a bill that had to be discussed more.
- ③ The prime minister was faced with public criticism. = Many people criticized the prime minister.
- ④ He gave up his hope.

時事英語は凝縮された短い英文に情報を多く盛り込んでいる。

情報を分解する訓練に、なぜニュースが良いか？

- ・事実が書かれている。時間的に自分とかかわりのある事（現在に近いこと）で理解しやすい。
- ・多くの情報が、分かりやすく、書かれている。
- ・情報を分解し、速く処理する能力が培われる。

従って、リスニング訓練にはニュースが最適である。

社会性について

英検準一級レベルでは、社会性の高い分野・内容の文章を理解できたり自分の意見を述べたりすることができる能力、コミュニケーション能力が必要とされる。社会性、すなわち時事英語しかない。英検面接試験で問われるのは、準一級では話題について広がり、深みを求められる。社会性の高い、社会的・国際的広がり、深みのある展開の解答が求められる。この力を培うのにも時事英語が最適

である。

英検の Can-Do List、過去問などで明らかなように、このような能力を身に付けておくことが英検準1級以上、センター試験の難問校入試には必要である。そのためにリスニングで訓練すること。なぜなら、日本人は日本語の場合は、日本語を聞いて理解するスピードより黙読で理解するスピードのほうが速い。しかし英語その他の言語ではほとんどの学習者が、Natural Speed での音読の速さ、あるいはそれ以上の速さで、「黙読」できることはない。日本人は英語学習の場合特に音声を聞いて理解する訓練をしていないので、これを音声により訓練することが不可欠である。フランス語、イタリア語、韓国語の学習者はCDを使っているが、日本の学生は英語授業でCDを使っていない。音声が入っていない。リスニングを訓練しなければならない。聞いて分かれば読んでも速く理解できる。日本語を母国語として学習する過程では、たくさんリスニングをし、聞いて理解できるようになってから、音読、そして黙読、という経緯をたどっている。

ニュースの英語表現そのものは変わらない。伝える情報（ニュース、内容）は変わるが、同じ英語表現で情報が伝えられている、それを理解し、コミュニケーションする能力を培う、これは茅ヶ崎方式教材そのもの。また、英語教育の手法にかなったものである。文や短い会話レベルなら、状況を変えて、同じ表現を何度も使う練習をする。これをパッセージレベル、談話レベルで考えると、同じような表現やパラグラフ構成を使って、伝えたい内容を変えて、受信したり、発信したりする練習をすることになる。

言葉の基本は音であり、文字ではない。生まれてすぐ出来るのは聞くことである。話すことではない。

さらに、大学入試の先を意識することが求められている。

職場では即英語を聞き話さなければならない現実が待っている。それに耐える力を培わなければならない。

「パナソニックは新規雇用 1300 人のうち 1100 人を留学生にした」のニュースにもあるように、社会に出ると英語を使わなければならない、という現実を知ることが必要である。一つの例として、カンボジアで、「親に仕事を、子供に教育を」というコンセプトで最貧層の女性たちが井草を縫って製品を作るというプロジェクトがあり、ここで働いている渡辺さんという日本人に会ったが、その彼いわく、「大卒後、商社に勤め東南アジアに勤めた。学生時代から世界を舞台にして仕事をするために中国語・英語を勉強していた。カンボジアではカンボジア語でなく、英語で仕事をしている、というのは、カンボジア人は大卒の人はだいたい英語をしゃべれる」とのことである。

ある企業では、大卒文系の新入社員では TOIEC 800 以下、英検準1級未満はいないとのことである。高校生に、社会性のある内容のものを読んだり聞いたりする力を培うような学習が求められている。

～協力校懇親会（2012年11月3日）講演より～

「高校生に茅ヶ崎方式を、事例報告」

寝屋川校 北川 孝子

事例：東京大学 理科1類現役合格

- ・夏休みの夏期講習（茅ヶ崎の1カ月分のニュースを1週間毎日やるプログラム）に申し込んできた灘高校3年生に中級コースを適用
- ・音読方法など教えたが、夏休み後一人で継続できないと入試ぎりぎりまで中級クラスに在籍
- ・東大2次試験のリスニング対策としてうまくはまったようで、リスニング点が上がり現役合格

寝屋川校に来た理由

母親の友達が他の茅ヶ崎協力校に通い、TOEICのリスニング点が上がった情報を知り、近くの協力校を探して来た

事例：英検準1級合格（高2）

- ・高1の終わりに入会。中級で学習して1年半位で英検準1級に合格
- ・現在星光学院高校3年生で、センター模試ではライティング、リスニングともにほぼ満点

寝屋川校に来た理由

通っていた公文塾の先生が塾をたたむということで、行き先を探して連れてきた英検準1級に何度挑戦しても合格できなかったのが、うちに来て合格できて感謝された

以上2例はとてもラッキーな例だと思います。茅ヶ崎方式の知名度が上がり、英検や大学受験にとっても効果があると茅ヶ崎方式全体で宣伝していただくと盛り上がると、もっとたくさんの事例が出て、相乗効果で協力校全体の高校生の生徒も増えると思います。寝屋川校のみでは限界があるのでぜひ宣伝をよろしくお願いします。

添付の「寝屋川市国際交流協会30周年記念スピーチコンテストに参加して」は、9月に行われたスピーチコンテストに高校生を参加させた時の感想です。結果は高校大学の部で2位と3位を受賞しました。参加した高校生は3～4分のスピーチを暗記して発表したのので、それをきっかけに英語力がグンとアップしました。またこのスピーチコンテストに参加した他の生徒からその日に問い合わせがあり、一人入会しました。

高校生と社会人の違い

- ・クラブ活動などでいつも忙しい。他の教科も勉強しないといけないので時間がない。
- ・定期テストの時はほとんど茅ヶ崎コースは欠席する
- ・ボキャブラリー（たとえば **degree** などの簡単な語）を知らない
- ・学校行事が最優先
- ・時事背景、難しい日本語の説明が必ず必要

というようなわけで、手とり足とり面倒をみないといけませんが、やる気になったら結果が出ます。

それから最初の事例の東大に受かった子が、いろいろな年齢の人と同じクラスで学習できたことは気分転換になったと言っていました。

協力校懇親会（2012年11月3日）講演より～

「高校生クラスの事例報告」

浜松校 松島 しげみ

浜松校は現在11年目に入るが、最初に教えた高校生は自分の娘で、東京外国語大学に合格し、その喜びをマンスリーに書いたことがあった。センター試験の英語（当時はリスニングはなかった）で満点をとったが、外大の個別試験のリスニングでは、英文を聞いて日本語に要約する問題に、これは、普段茅ヶ崎方式でやっていることと同じ、ということで出来て、大変難しい東京外大の試験に合格することができた。また、「現代社会」は良い点数がとれたということも、普段茅ヶ崎方式で時事に関することを学習していたおかげであった。

現在8人の高校生に教えている。その生徒たちにアンケートをとった。結果は配布資料のとおり。

高校ではリスニングの機会がほとんどない、また、少人数のクラスで緊張感を持ってリスニングする機会があってうれしいという感想が多くの子から出た。また、結果も非常にリスニングの力が伸び、学年で2番になったという報告もある。半年で英語科のクラスのある学校で3番になった（本人は英語科の生徒ではない）。昨年度のセンター試験では（2人が受験）リスニングで40点、41点を取り、平均点（24.55）よりかなり高い結果が出た。

リスニング力がどのぐらい伸びたと思うかとの質問には1年ぐらいという答えが多いが、講師から見ると半年ぐらいで結果が出てきているように見受けられる。高校生の耳の進歩は目覚ましいと感激する。1年というのは本人が納得して分かったと思えるということではないかと思う。従って1年生ぐらいから始めるのが良いのではないかと思う。高校生の他に中学3年生が現在3人来ているが、現在C1から初めているが、中学2年の時にCD500を使ってやり、これを橋渡しにして中学3年になってからC1を始めた。このうちの2人が今年、英検2級の1次に通った。リスニングが8割近くとれて、そのおかげで一次を通過した。これは茅ヶ崎方式のリスニングのおかげだと思う。英検でもリスニングが強いと受かるということ。（二人とも合格できました。後日談）

大手の塾に比べて、一方通行でなく、インタラクティブにできる。一人ひとりがお客さんでなく、アクティブになれる。英語ばかりでなく、スクリプトから現代社会、政治などを知ることができる、という副産物がある。また、同じクラスの大人の会員から専門の知識を教えてもらえる。受験だけでなく、生涯学習で英語をやっている人がいることで、触発

され良い刺激を受ける。

C square クラスを難関校受験生対象に、書くクラスとして実施している。高校生4人プラス一般1人。知っているはずなのに自分で書くと書けなかったが、だんだん書けるようになってきている。書くスピードも正確さも向上している。予習をしてくるように促しているが、予習を一生懸命やっていることで当日の短文も書けるようになってきている。ノートを毎回確認して良くやっている生徒には大きいハナマルをあげている。

大人と一緒にクラスで勉強することで、社会性も身につく、人間として成長している様子がみえる。

～協力校懇親会（2012年11月3日）講演より～

「高校生に茅ヶ崎方式を適用して」

加古川校 野崎 一恵

加古川校は2000年4月、中級（C2）2クラスで開校した。現在は、初・中・上級各2クラス開催している。C-Square クラスは2クラス並行受講が難しく希望者がいないため、高校生に個人レッスン用として使用している。

当校はもともと1994年、児童英語教室としてスタートした。過去の茅ヶ崎方式受講の高校生はその卒業生であり、小さい時から英語をやっていた子供たちで、英語に興味があり、普通の英語教材ではものたりない生徒たちであった。将来外交官になりたい、そのために茅ヶ崎方式が必要、というケースなどである。全員中級（C2）を受講し、それぞれ大学（ICU、京都大学、奈良女子大、関西外語大、岡山大、など）に合格した。中級～上級をとり、高2で英検1級を取得して現在アメリカ留学中の生徒も。児童英語教室卒業生とは別に、高1の生徒（途中からの本校入会者）だけでC-0クラスをやってみたが、C-0教材は語彙が限られており、大学受験につながらない教材で、失敗した。C-0でなくC1にすべきだった。

現在は6名の高校生・高専生が大人と一緒にのクラスで中級、上級、C-Squareをやっている。中には背景知識が豊富で大人に説明できるぐらいの高校生もいる。茅ヶ崎方式で語彙が身についたという感想を述べている。リスニング力がついてTOIECも半年ぐらいで100～150点あがった。

現在の高校生は会話がしたいというのではなく、文法をやりたい、TOIECの対策のために、などの要望がある。これまで、学習歴、将来の進路によって、ある程度以上のレベルの高校生に茅ヶ崎方式を採用し、その効果も分かっていたが、そうでなく、普通の高校生に、レベルのそれほど高くない高校生にも茅ヶ崎方式をやるべきであると、今日の中西先生のお話で納得できた。また、茅ヶ崎方式を導入する際に大切なのは、なぜ茅ヶ崎方式が良いのか、どういう目的でやるのか、どういう効果があるのか（語彙力がつく、構文が浸み込むなど）などの学習の意義を生徒に納得のいくよう説明してから始めるべきである。「受験に出ない」などと言わせないために。

寝屋川市国際交流協会 30 周年記念スピーチコンテストに参加して

茅ヶ崎中級クラス
(高3女子)

英語を習っているイクオス英語学院茅ヶ崎コースの北川先生より、スピーチコンテストのことを聞きました。原稿提出までに日数がなく、定期テストもあってどうしようかと迷いましたが、スピーチを作り上げることで自分の英語力が上がると思い、挑戦してみることにしました。

テーマが国際社会だったので、それに関するスピーチでなければなりません。茅ヶ崎コースのニュース英語から、震災以来世界の国々から被災者や日本に暖かい援助が多く寄せられていることを習って知っていましたので、3月11日の東日本大震災のことをスピーチにして、援助いただいた国々や方々にお礼を言いたいと思いました。

まずどんな国々、どんな方々が援助の手を差し伸べて下さったか。

震災以降の茅ヶ崎コースのニュースに目を通し、他の級のニュース、Japan Times の関連記事などは北川先生がコピーして下さいました。

たくさん関連ニュース記事があり、こんなにも多くの方々が日本や被災者に心を寄せて、募金だけでなく、ボランティアでいろいろなことをして下さいただなあ、と再確認し、胸が熱くなりました。

とは言え5分以内のスピーチですから、すべてを取り上げることはできません。印象的なものを選び、その英語表現を借りてスピーチを組み立てました。

スピーチを作りながら、先生と内容について話し合っていく中で、普段は当たり前のように思っている家族や友達の存在、水の大切さなどを改めて実感しました。

私のつたない英語を分かりやすい、流れる英文に添削していただき、北川先生にはとても感謝しています。また発音しづらく聞き取りにくいワードは聞き取りやすいものに変えたり、発音やパフォーマンスの注意など、本当に細かいところまでアドバイスしていただきました。ありがとうございました。

結果は高校大学生の部で2位でしたが、今の自分の持っている力は全部出せたと満足しています。

これからも茅ヶ崎コースで勉強して、もっと自分の英語力の底上げをしたいと思います。

※茅ヶ崎寝屋川校 HP にアップしているスピーチコンテストの感想です。

高校生にも茅ヶ崎方式 アンケート結果

浜松校 松島しげみ

対象： 2年生 3名 3年生 5名

1. リスニングを中心に学習する茅ヶ崎方式をどう思いますか？

- a. リスニングだけでなく単語も勉強できるし文法も確認できるのでバランスよく学習できます。(C1 高2女子 2年半)
- b. リスニング力がつき、単語も文章の一部として覚えられます。(C2 高2男子 2年半)
- c. 学校の授業より聞く力や話す力が身につくと思います。(C1 高2男子 2年半)
- d. 2年近く勉強してきてリスニングは慣れることが大事だと思うようになりました。だから毎週リスニングの練習をするのはすごくためになります。(C2 高3女子 2年)
- e. 日常的にあまりないことだからとてもいいと思います。(C1 高3女子 1年半)
- f. 学校の授業ではリスニングを中心にするのはあまりないのでリスニングに重点を置いて良いと思う。(C1 高3男子 半年)
- g. 英語を読むだけよりも親しみを持って英語に取り組めるのでとても楽しく学べると思います。(C2 高3男子 2年半)
- h. 単語一つ一つをしっかりと聞き取れて今では単語でしかなかったものが文章になってきています。(C1 高3男子 2ヶ月)

2. 「リスニング力が上がった」と自分で思えたのは入会してからどのくらい経ってからですか？

- a. 自分でリスニング練習することがなかったので、最初は手こずるかと思いましたが、レベルに合っていたので、知らないうちにいろいろ聞き取れるようになっていました。
- b. 1年くらい。
- c. 1年くらい。
- d. 1年くらい。 C2になって全然分からない！と思って焦ったけれど、振替でC1に行ったとき、前まで分からなかったのが気付いたら分かるようになっていました。
- e. 半年過ぎたあたりから。
- f. 3～4ヶ月。
- g. 具体的にはあまり覚えていませんが、学校のテストの時リスニング問題がよく聞こ

えた時に「上がったのかな」と思いました。

h. まだありません。

3. 受験勉強にどのように役立つと思いますか？

- a. 学校ではリスニングはやらしてもらえないことなので、リスニングのクラスそのものが受験勉強になっていると思います。受験で使わないとしても、聞き取る能力は将来役に立つと思います。
- b. 単語力、リスニング力がかなりつくと思います。長文もできるようになりました。
- c. リスニング問題や長文読解などに役立つと思います。
- d. 英語を読んだり、聴いたりするのに慣れるから、全てに役立っていると思います。特にリスニング
- e. 文法だけとか、読解だけというのではなく、英語全体的に上げることができて社会勉強にもなる。
- f. 模試でリスニングの問題が解けるようになり、発音問題やアクセントの問題も分かるようになりました。
- g. リスニングはもちろん単語などを増やすことが出来ると思う。
- h. リスニングで点が取れること。

4. 自分の英語力はどのくらい伸びたと思いますか。

- a. 模試の結果にも数字として効果が表れました。偏差値が大幅に上がりました。
- b. 高1の時は真面目にやっていたのでかなり模試で取れるようになったが、高2になってからは適当にやっている感がある。なので、ちゃんと取り組めばものすごく伸びる。
- c. 学校のテストが苦にならないくらいに伸びた。
- d. 点数にしたらセンター100点分くらい。単語が前より増えたかなと思います。
- e. 入った時と比べるとだいぶ人並みに近づけた。
- f. 100点から140点（センターマーク模試）
- g. リスニングに関しては少し自信が持てるくらいに聞こえるようになったと思う。
- h. まだ伸ばし始めたばかり、結果待ち。

5. 大手の学習塾と比べてどんなメリットがあると思いますか？

- a. 少数であるのも魅力であるし、見慣れたメンバーだと落ち着いて楽しく学習できま

す。事務的な感じの全くしない教室の雰囲気なので質問もしやすく、英語も出てくる。アットホーム。

- b. シャドーイング、レシテーション、など他では普段やらないので、ものすごく英語力を鍛えられること。沢山やれること。
- c. 少数でやるから、英語の文法などが身に付きやすい。
- d. 他の塾だと主に先生の講義を聞くだけで分かったつもりになりがちだけど、茅ヶ崎は実際、書いたり口に出したりするから、分かったつもり、出来たつもりになることが少ないと思います。
- e. 少人数のところ、受身の形にならないところ、楽しさがあるところ。
- f. スクリプトの内容で色々知ることができる。リスニングに重点を置ける。
- g. 一人一人が能動的に授業に参加できること。英語以外の知識も身につけることができること。
- h. 楽しく英語を学べる。

6. Cスクエア対象者：英作文を中心に学習する中で、何か自分なりの「気づき」はありましたか？

- a. まず、文法や単語を学校で勉強しているはずの自分が英作文のプリント前にして最初、手も足も出なかったことに驚きました。真剣に取り組んでいくと、どんどんまじな文が書けるようになっていき、嬉しかったです。
- d. やっていくうちに英語の文章の順番が分かってきた気がします。
- e. 日本語から英語をやっていくうちに単語が浮かぶようになった。日本語の文章構成を考えて、英語ではどう表現すればいいのか考えられるようになった。
- g. 自分で書く事で、自分の苦手なところがはっきりと現れて、今何をやればいいのかという目安になった。

感想：

- 1 リスニングは学校の授業ではなかなかできない（また実施しても緊張感を持って生徒が臨むことができない）ので生徒たちはリスニングを学ぶことのできる貴重な場所であると本校の授業を見てくれています。現在、中3生、3名がC1で学んでいますが、うち2人が英検2級一次に通りました。リスニングで8割くらい取れたのが勝因です。
- 2. 大人に比べて高校生リスニング力の伸びには講師が驚く程です。ほとんどの生徒

が模試で偏差値 60 以上を得ています。

3. 長文解釈にも役立つという感想が、思いのほかでした。今年 3 月に受験した生徒 2 名のセンター入試の結果：(R182 点+L40 点 : R180 点+L42 点) 現代社会の教科にも大いに役立ちます。
4. どの生徒も数ヶ月を経た頃から、自分でもわかるほどに伸びたといいます。講師にも成長がわかります。模試では数字で現れます。
5. 大手の学習塾では有名な先生のサテライン講義が売り物のようですが、授業が一方的で、緊張感もなく終わってしまうことがしばしばあるようです。
生徒の中に大人が混じって色々な知識を披露してくれるので、大いに触発されることもあるようです。大人の学習者の真摯な姿勢にもいい影響をもらっています。
コーヒブレイクのお茶菓子がちょっとした楽しみようです。生徒も修学旅行や家族旅行でどこかに行くとお土産を買ってくれます。知らないうちに社会性が身につくようです。
6. 予習が大変な様ですが、きちんと予習して授業に向かうと英文が書きやすいと思うようになってきたようです。ノートのチェックをしています、頑張ったときには思いっきり褒めてあげるようにしています。